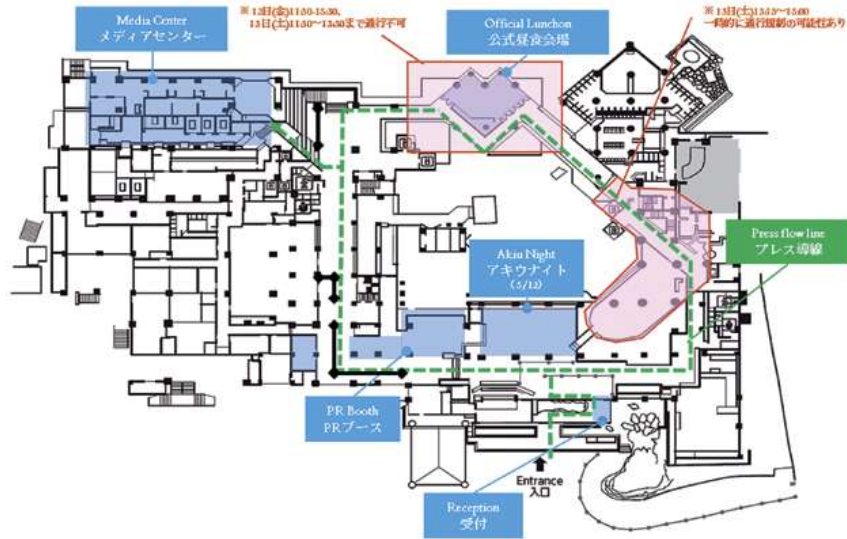
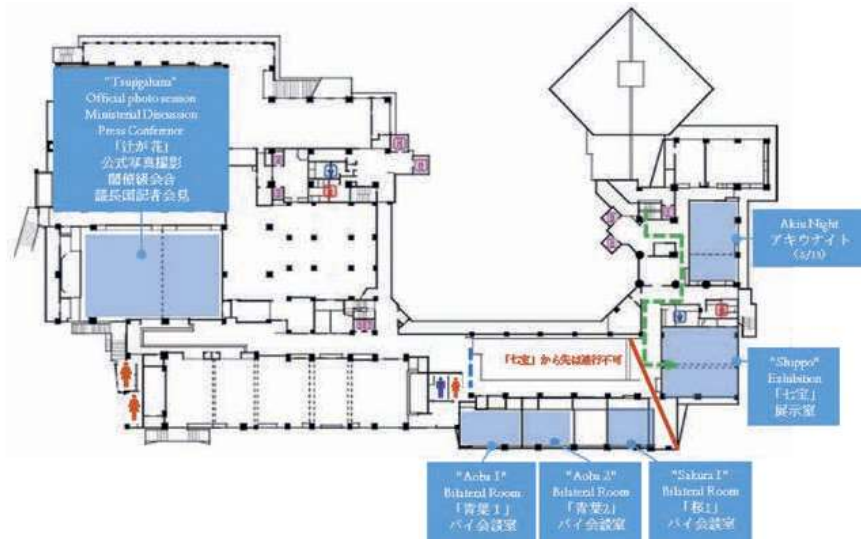


3 会場図

ホテル佐勘 (会場) 1F Hotel Sakan (Venue)



ホテル佐勘 (会場) 2F Hotel Sakan (Venue)



第2章

推進協の取り組み

1 2023 G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会とは

【名称】

2023 G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会

【設立目的】

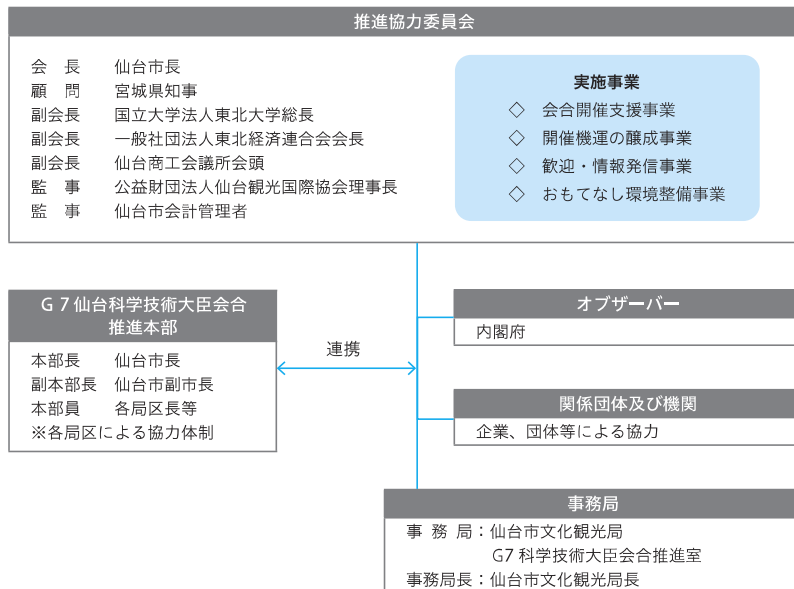
2023年5月に仙台市秋保地区で開催されるG7仙台科学技術大臣会合に向け、会合の開催支援や歓迎機運の醸成、仙台・東北の魅力や復興情報の発信などを目的とする。

【設立月日】

2022年10月28日

【構成団体】

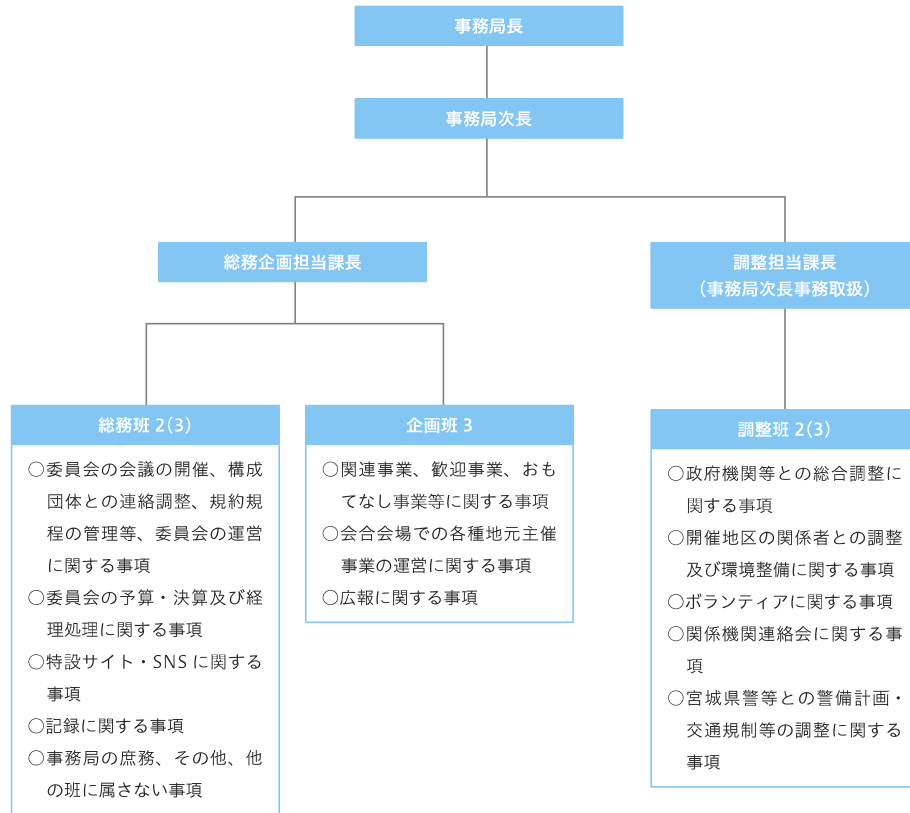
- ・仙台市
- ・宮城県
- ・国立大学法人東北大学
- ・宮城県警察本部
- ・第二管区海上保安本部
- ・宮城県市長会
- ・一般社団法人東北経済連合会
- ・仙台商工会議所
- ・一般社団法人仙台経済同友会
- ・株式会社河北新報社
- ・東日本旅客鉄道株式会社 東北本部
- ・仙台国際空港株式会社
- ・一般社団法人東北観光推進機構
- ・仙台ホテル総支配人協議会
- ・宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合
- ・公益財団法人仙台観光国際協会
- ・秋保温泉旅館組合
- ・みやぎ仙台商工会
- ・秋保地区町内会長会
- ・湯元地区連合町内会



■開催の記録

	日時・会場	議事
設立総会	2022年10月28日(金) 15:30～	2023 G7 仙台科学技術大臣会合推進協力委員会規約について
第1回委員会	ホテルメトロポリタン仙台 21階 銀河	(1) 議案 ①第1号議案 副会長の指名について ②第2号議案 監事の選任について ③第3号議案 収支予算(案) (2) 報告事項 ① G7 仙台科学技術大臣会合の実施概要について ② 2023 G7 仙台科学技術大臣会合推進協力委員会の取り組みについて ③その他
第2回委員会	2022年12月1日(木) 書面開催	(1) 議案 ①第1号議案 2023 G7 仙台科学技術大臣会合推進協力委員会 構成団体及び委員の追加について ②第2号議案 2023 G7 仙台科学技術大臣会合推進協力委員会規約の改正について
第3回委員会	2023年2月14日(火) 14:00～ 仙台市役所本庁舎 2階 第一委員会室	(1) 議案 ①第1号議案 収支補正予算(案) (2) 報告事項 ①実施事業概要 ②各構成団体独自の取組み ③その他
第4回委員会	2023年4月17日(月) 14:00～ 仙台市役所本庁舎 2階 第一委員会室	(1) 議案 ①第1号議案 監事の選任 (2) 報告事項 ①実施事業概要 ②会合開催日程 ③その他
第5回委員会	(予定) 2023年11月13日(月) 14:00～ 江陽グランドホテル 4階 真珠の間	(1) 議案 ①第1号議案 専決処分事項に関する件 ②第2号議案 収支決算報告 ③第3号議案 剰余金の処分 ④第4号議案 推進協力委員会の解散及び規約の廃止 (2) 報告事項 ①事業報告

■事務局の組織体制



()内は、会計年度任用職員を含む人数

■推進協力委員会の予算・決算 ※2023年10月10日時点見込

《収入の部》 (単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 仙台市負担金	121,756,000	121,756,000	0	
2 その他収入	0	129	129	預金利子
収入計	121,756,000	121,756,129	129	

《支出の部》 (単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 推進協力事業費	111,925,000	105,859,292	△ 6,065,708	
(1) 会議開催支援事業	5,000,000	812,064	△ 4,187,936	警備・交通・ライフライン関係機関連絡会会場費用等
(2) 開催機運の醸成事業	30,916,000	30,845,233	△ 70,767	開催記念イベント等
(3) 歓迎・情報発信事業	72,901,000	72,783,525	△ 117,475	アキウナイト、エクスカーション、シティドレッシング等
(4) おもてなし環境整備事業	3,108,000	1,418,470	△ 1,689,530	ボランティア研修等
2 委員会運営費	931,000	133,560	△ 797,440	
3 効果測定	5,900,000	5,885,000	△ 15,000	
4 記録作成	3,000,000	2,365,000	△ 635,000	
支出計	121,756,000	114,242,852	△ 7,513,148	
収支差	0	7,513,277		

2 会合開催支援

主催者との連絡調整

G7仙台科学技術大臣会合に向けて、主催者である内閣府や、東北大学等の関係機関と連携して準備を進めました。

本市の科学技術を活かした取り組みや東日本大震災からの復興状況や仙台・東北の魅力を世界に発信することなど仙台開催の意義をまとめ、内閣府と協議しながら事業の大枠を固めました。事業を検討するにあたっては、前回2016年に仙台で開催されたG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議で行われた関連事業や歓迎行事を基本とし、つくば市で開催されたG7つくば科学技術大臣会合についても調査し、仙台・東北ならではの事業の実施を検討しました。

会合の仙台開催が決定した2022年9月から2023年5月までの約8か月の期間、内閣府及び警察庁等による現地視察のほか、各国大使館等関係者の視察も随時行われました。内閣府とはオンラインによる定例会議を行ったことに加え、東北大学等の関係機関も含めた合同会議や連絡調整を行い、関係機関と密に連携を取りながら開催に向けて準備を進めました。

会場・宿泊調整

大臣会合の会場、公式視察の訪問先などの連絡調整を行うとともに、参加者・関係者の宿泊のため秋保地区のホテル・旅館への協力依頼等を行いました。各国・EUの代表団は全て秋保地区に宿泊されました。さらに警備やライフライン(電気、通信等)などの関係機関のスタッフが多数秋保地区に滞在し、24時間体制で業務にあたりました。

【各会場等】

■宿泊ホテル

- ホテル佐勤、茶寮宗園

■記念撮影

- ホテル佐勤

■公式視察

- 震災遺構仙台市立荒浜小学校、南蒲生浄化センター、東北大学災害科学国際研究所、次世代放射光

施設「NanoTerasu」

※南蒲生浄化センターでの津波避難広報ドローンの視察は天候の影響により当日中止となりました。

【警備・救急・消防体制、衛生体制】

【警備体制】

会合期間中は、秋保地区の会場周辺において内閣府と宮城県警察による警備が行われたほか、推進協力委員会が公式エクスカッション等の関連事業の警備を行いました。

また今回の会合では、2016年に実施した検問などの交通規制は行わず、渋滞緩和への協力を依頼する広報を行いました。これにより、地域住民の負担は軽減されたところですが、地域の事業者から、規制等を懸念した観光客減少の影響を受けたとの声もあったところです。

【危機管理体制】

会合期間中は、想定され得る危機への対応やその発生を防止するため、下記のとおり危機管理レベル及び対応体制を設定しました。

期間:2023年5月12日(金)～5月14日(日)

体制:危機管理レベル2(危機警戒本部の設置)

【消防体制】

会合会場及び関連施設等における火災等の未然防止と災害発生時の消防活動に万全を期すため、仙台市消防局により消防特別警戒が実施されました。特に、会合会場である秋保地区においてはホテル佐勤に現地警戒本部を設置し、警戒体制を敷くとともに救急車両等を常駐配備しました。

期間:2023年5月12日(金)～14日(日)

体制:(1)5月11日:情報連絡体制の強化

(2)5月12日～14日:第二警戒体制として1日あたり約390人、延べ約1,170人に対応

(うち秋保地区現地警戒本部に1日あたり約30人、延べ約90人が対応)

(3)関連施設その他各消防署等に増強警戒配備を実施

災害等発生状況:警戒期間中、会合の開催に関係する災害及び救急事案の発生なし

【救急医療体制】

●DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣に備えた会合開催施設での待機と救護室設置

DMATの派遣に備え、ホテル佐勤内で医師等が待機し、救護室機能も兼ねて対応しました。

期間:2023年5月12日(金)～13日(土)*22時以降は閉室
場所:ホテル佐勤 リラクゼーションルーム

体制:医師2名、看護師2名、連絡員2名(仙台市立病院(5月12日)仙台医療センター(5月13日))

※加えて、DMATの派遣に備え、両日とも東北大学病院の医師等がオンコール待機の体制を取りました。

●救急搬送体制

東北大学病院、仙台医療センター及び仙台市立病院において、会合参加者の救急搬送時の受入等について、協力体制を整備しました。

【衛生対策】

会合会場や宿泊施設における衛生管理について、食中毒や感染症の予防のため、仙台市健康福祉局及び太白区が従前より衛生指導を実施し、会合開催や参加者の宿泊に備えました。

また、農林水産省より会期中の料飲提供事業者に対し、毒物混入等の危険に係る食品防衛に関する情報提供がなされました。

インフォメーションデスク設置運営

期間	2023年5月12日(金)～5月14日(日)
会場	仙台駅
主催	推進協

会合関係者の案内・誘導のため、インフォメーションデスクを仙台駅に設置しました。インフォメーションデスク



には、多数の語学ボランティアの方々にも協力いただき、参加者へ情報提供を行いました。

また、語学ボランティアが「おもてなし」の心で、横断幕を掲げてお迎え・お見送りをしました。

語学ボランティア

活動期間	2023年5月11日(木)～14日(日)
会場	佐勤(インフォメーションデスク、PRブース、巡回バス同乗)、仙台駅、エクスカッション(震災遺構仙台市立荒浜小学校)
主催	推進協
参加者数	(従事者数) 38人 (活動人数) 延べ58人

会合期間中、38人の語学ボランティアが、様々な場面で会合関係者等へのサポートやおもてなしを行いました。

仙台駅や会合会場の佐勤で会合関係者等へのお出迎えやお見送り、案内を行うとともに、佐勤内のPRブースでは仙台・東北の情報提供を行いました。初日、2日目の夜に実施された地元歓迎イベントでは、場内での案内や提供された東北の食材やお酒、披露された伝統芸能等の説明のサポート等を行いました。また、スタディツアーのバスにも同乗し参加者へ向けて説明を行い、エクスカッションでは大臣たちの誘導サポート等を行いました。

今回活躍いただいた語学ボランティアは、事前に英語でのおもてなしやマナー、話し方等の研修を受講し、各自準備を重ねながら当日を迎えました。

【募集】

(公財)仙台観光国際協会(SenTIA)に登録されているボランティア、仙台学生コンベンションサポーターの方々から募集し決定しました。

(募集期間)1月16日(月)～2月15日(水)

(応募人数)44人



【研修】

- 3月21日(火・祝) 10:00~13:00 初級者向け
- 3月21日(火・祝) 14:00~17:00 経験者向け
- 3月26日(日) 10:00~13:00 経験者向け

【結団式および活動内容説明会】

4月23日(土)、会合開催まで1ヵ月を切り、直前を控えて、語学ボランティアの結団式および活動内容説明会を開催しました。

結団式では、郡会長(仙台市長)から「これまでの研修やボランティア活動で培った知識や経験を活かし、仙台の顔としてお客さまをおもてなしいただきたい」と挨拶があり、語学ボランティアの代表2名が郡会長からボランティアジャンパーの贈呈を受けました。

代表2名はそれぞれ、お越しになる方々を笑顔で迎えたい、「活動場所や時間はそれぞれ違うが、一丸となって活動にあたりたい」と決意表明を行いました。

活動内容説明会では、活動本番におけるボランティアの配置場所や活動内容が発表され、仙台駅や会合会場などの具体的な場面を想定した英語でのロールプレイングや伝わる話し方・接客マナーなどの研修が行われました。

日時:4月23日(日) 13:30~17:00

場所:エル・パーク仙台 セミナールーム1・2



【当日の体制】

■活動人数

- 5月11日(木) 6人(仙台駅6人)
- 5月12日(金) 17人(秋保地区9人、仙台駅8人)
- 5月13日(土) 22人(秋保地区9人、仙台駅9人、エクスカーション4人)
- 5月14日(日) 13人(秋保地区2人、仙台駅11人)
- 合計 58人

■活動内容

- インフォメーションデスクでの案内(仙台駅、佐勤)
- スタディツアー(エクスカーション)の当日参加者への案内補助
- スタディツアー(エクスカーション)のバス同乗・参加者へのサポート
- PRブース、デモンストレーションブースでの案内・運営・語学補助
- アキウナイト運営補助(佐勤)
- 各国代表団への横断幕を用いたの歓迎、見送り対応
- エクスカーション時の代表団の誘導や案内の運営補助 など



【活動者アンケート】

「満足・どちらかと言うと満足」の方が87%と8割を超えた一方で、「どちらとも言えない・やや不満」の方が13%となりました。不満の主な要因は、語学を生かす場面が少なかったこと、前回のボランティアと比べて活動の場面が少なかったことであり、G7会合会場の雰囲気を感じる場面が多かったり、会合参加者と交流機会の多いほど満足度が高まっていました。

秋保地区団体・住民向け説明会

会合期間中は、会場であるホテル佐勤を中心に秋保地区において、宮城県警察による警戒や巡回等が実施されました。これに先立ち、秋保地区の事業者や住民を対象とした説明会を開催し、G7の概要や関連事業、期間中の警備や交通整理等について、推進協及び宮城県警察から説明しました。

宮城県警察では、交通混雑緩和のためチラシの配布やポスター・看板等の掲出、交通情報板やラジオ等を通じた広報等により協力を呼びかけました。



宮城県警察が掲示・配布したポスター・チラシ

【秋保地区団体・事業者向け説明会】

- ①2023年3月1日(水)14:00~15:30 秋保市民センター 参加人数:51人
- ②2023年3月4日(土)10:00~10:40 秋保市民センター 参加人数:15人



【住民向け説明会】

2023年4月8日(土)

- ① 14:30~15:30 湯元市民センター 参加人数:28人
- ② 18:30~19:30 秋保市民センター 参加人数:13人

3 公式エクスカージョン

公式エクスカージョン

開催日時	2023年5月13日(土)午後、 2023年5月14日(日)午前
会場	震災遺構仙台市立荒浜小学校、 東北大学災害科学国際研究所、 次世代放射光施設「NanoTerasu」
参加者	G7各国の科学技術担当大臣 ほか随員、報道各社

公式日程として、代表団による市内の視察が行われました。過密な会合日程の合間を縫って、市内被災地や科学技術関連施設の視察を行いました。

震災遺構である荒浜小学校では、市長が東日本大震災における被災状況や、震災の記憶を残す震災遺構として荒浜小学校を保存すること、また、復興と同時に進められた多重防御等の防災に関する取り組みを説明しました。

被災地の次に訪れた東北大学の災害科学国際研究所では、デジタルツインやロボットなどの先端技術を活用した災害・防災に関するプレゼンテーションが行われました。

参加された大臣や各国代表団は熱心に説明に耳を傾け、質問をしたり、自らのスマートフォンで写真撮影する方もいらっしゃいました。

また、秋保と沿岸部を移動するバスの中では、天候の影響で視察が中止となった津波避難広報ドローンの紹介動画のほか、宮城県内の復興に関する紹介動画を上映し、科学技術を活用した本市の防災に関する取り組みや、東日本大震災からの復興について理解を深めていただきました。

最終日に行われた次世代放射光施設「NanoTerasu」の視察では、施設や分析性能の先進性に加え、産学官民が連携したイノベーションエコシステムについて紹介し、その後、視察に続きナノテラスを会場として、G7各国の代表と国内、海外の量子産業団体の代表が参加したハイレベル会合「量子技術が切り拓く未来」が開催され、量子産業化推進に向けた主要課題や各国間の連携について活発な議論が交わされました。

公式エクスカージョンには、G7各国が全て参加するとともに、多くのプレスの方々も参加し、仙台の復興の様子や科学技術を活用したまちづくりに関する取り組みなどが

幅広く発信されました。



車内動画

主催 推進協

【概要】

会合2日目に行われた公式エクスカージョンのバス車内にて、各国閣僚に向け、震災の記録や科学技術を活用した本市の取り組み、そして歓迎の意を表すための動画を放映しました。

〈震災の記録動画〉

東日本大震災発生当時の様子や震災から12年が経過

した現在の様子、そして復興の歩みを伝える映像を、被災沿岸部地域に向かうバス車内で放映しました。内容は仙台市内の状況だけでなく、宮城・岩手・福島の前被災3県の現在の状況も紹介し、各国閣僚へ向けて東北の復興の発信と、寄せられた支援に対する感謝の気持ちを表しました。

〈震災遺構荒浜小学校 震災の記録動画〉

公式エクスカージョンの訪問先となった震災遺構荒浜小学校の震災の記録動画をご覧いただき、震災発生当時の様子や自然の脅威、命を守る行動、経験した方々のリアルな言葉をお伝えしました。実際に現地を訪れる前に、当時の様子を映像でご覧いただくことで、被害の実態をより深くご理解いただく機会となりました。

〈津波広報ドローン動画〉

震災からの教訓と科学技術を活かした防災の取り組みである、津波広報ドローンの紹介映像を放映しました。「自動運航のドローンにより津波避難広報を行うこと」及び「専用のLTE通信網でドローンの制御等を行うこと」の2点において世界初の事例であり、実現により、沿岸部の来訪者に対する効果的な津波避難広報体制の確立が期待される本事業を各国の科学技術の担当大臣に紹介することに大きな意義がありました。

〈秋保地区の子どもたちによる国歌斉唱歓迎動画〉

会合参加者へ歓迎の意を表するため、秋保地区の学校の子どもたちによる各国の国歌斉唱動画を放映しました。一生懸命練習した各学校の子どもたちの歌声に、各国の閣僚からは笑顔があふれ、賞賛の声が上がりました。

【担当国歌】

あきう幼稚園：カナダ
馬場小学校：イタリア
秋保小学校：フランス
湯元小学校：ドイツ
秋保中学校：アメリカ、イギリス

4 関連事業企画・運営

メディアセンターにおける仙台・東北PR

期間	2023年5月12日(金)10:00～ 5月13日(土)17:00
会場	ホテル佐勘 1階 萩亭
主催	推進協（メディアセンターの開設主体は内閣府）

5月12日(金)から13日(土)の2日間、ホテル佐勘にプレスの活動拠点となるメディアセンターが開設されました。推進協では、メディアセンター内に東北6県のPRポスターを掲出する他、各県市長会から協賛いただいた飲み物やお菓子等をふるまいました。

提供は各日2回、計4回実施し、提供に当たっては、株式会社コバヤシと宮城県産業技術総合センターに協力いただき、むすび丸とG7 SENDAIの文字がデザインされ、環境にやさしい素材で制作したお皿とカップを使用しました。



【提供品一覧】

飲料	果実プレミアムジュース（山形県長井市） 伊達な温泉水（宮城県大崎市） ブルーベリージュース（宮城県富谷市） あまぎけ初恋さくら（宮城県登米市） 麦茶（「ワケルくん」デザインボトル）（仙台市）
お菓子等	ソフトりんご（青森県青森市） 南部せんべい（青森県八戸市） りんごスティック（青森県弘前市） 白金豚ジャーキー（岩手県花巻市） 花巻温泉あんぱん（岩手県花巻市） バターどら（山形県山形市） フルーツポップコーン（福島県福島市） けせんぬまおつまみこんぶ（宮城県気仙沼市） ホヤばーやサブレ（宮城県気仙沼市） 萩の月（仙台市） ふくちゃん（仙台市） NanoTerasu パウム（仙台市） ムスリム向け蒲鉾（仙台市） 仙台駄菓子（仙台市） おはぎバー（仙台市） 仙台みそケーキ（仙台市）



メディアセンター（ポスター・パンフレットによる情報発信）



メディアセンターの様子

地元関係者からの歓迎

開催日時	2023年5月12日(金)18:00
会場	ホテル佐勘 2階 辻が花
参加者	G7各国の科学技術担当大臣・ 閣僚、推進協会長（仙台市長）、 仙台市議会議長、東北大学総長

会合1日目のセッション終了後、地元を代表し、推進協会長（仙台市長）、仙台市議会議長、東北大学総長の3名がG7各国の代表に対し、歓迎のメッセージを述べました。また、仙台市から各国代表に贈呈した記念品についても紹介を行いました。



仙台市や東北の企業・大学、 国立研究機関等の技術展示

開催日時	2023年5月12日(金)9:00～ 2023年5月14日(日)11:00
会場	ホテル佐勘 2階 七宝

会合関係者および報道関係者に向けて、仙台市の取り組みや東北の企業・大学、国立研究機関等の技術力をPRする展示ブースを設置しました。

5月12日の18:30～19:00には、各国代表が展示ブースを訪問し、仙台市長から仙台市の取り組みについて紹介しました。

【仙台市の展示】

テーマ
BOSAI-TECH NanoTerasu 再生可能エネルギーを用いた防災の取り組み

【東北大学の展示】

出展団体
災害科学国際研究所、 東北メディカル・メガバンク機構 スタートアップ事業化センター（ほか） （東北大学スタートアップ企業） エアアシルク株式会社、パワースピン株式会社、 ボールウェブ株式会社

【東北6県の企業・大学の展示】

担当県	出展団体
岩手	岩手大学・岩手県工業技術センター
岩手	いわて加速器関連産業研究会
山形	山形大学医学部東日本重粒子センター
山形	Spiber 株式会社
青森	八戸工業大学
青森	株式会社コアア
福島	福島県立医科大学先端臨床研究センター
福島	フロンティア・ラボ株式会社
福島	白河素形材ヴァレー
福島	神田産業株式会社
福島	株式会社 IHI
福島	南相馬ロボット産業協議会
宮城	東北電子産業株式会社
宮城	株式会社ティ・ディ・シー
秋田	インスペック株式会社
秋田	Orbray 株式会社

【国立研究機関等の展示】

テーマ	出展団体
量子ロボット	科学技術研究開発機構 (JST)、慶應義塾大学
量子コンピュータ	理化学研究所
量子ムーンショット	科学技術研究開発機構 (JST)、大阪大学、 浜松ホトニクス株式会社、 情報通信研究機構 (NICT)
オープンサイエンス	国立情報学研究所 (NII)
スペースデブリの除去衛星	アストロスケール
福島国際研究教育機構	復興庁



PR用制作物

主催 推進協

【概要】

本市の取り組みや観光PRのため、会合関係者や報道関係者向けに英語版パンフレットを作成し、会合会場PRブースへの配架や、G7バッグに同封し配布しました。

【HOW TO ENJOY AKIU】

会合会場となった秋保地域の魅力がたっぷりと詰まった観光パンフレットを作成し、秋保のグルメや文化、観光スポット、交通アクセス、温泉の入り方などを紹介。パンフレットはG7開催終了後も海外からお越しいただく観光客にも配布できるような仕様にしました。



【3.11 BEFORE & AFTER SENDAI】

東日本大震災からの復興において、震災の経験や教訓を生かした防災環境都市づくりを推進してきた本市では、復興による新しい“まち”や“風景”ができあがっています。本パンフレットは、本市の今の姿やまちづくり(復興)の意義への理解を深めることを目的に制作・配付しました。

【SENDAI Restaurant guide for Vegans and Vegetarians, Muslims】

本市における食の多様性のPRを行う目的で、市内のベジタリアン・ヴィーガン・ムスリム対応店舗を紹介するパンフレットを最新の情報に改訂し、配布しました。

【See Japan, Experience Sendai Activities】

本市の文化や食、歴史等、様々な魅力を知ってもらうため、体験プログラムを紹介するパンフレットを最新の情報に改訂し、配布しました。



アキウナイト

開催日時	2023年5月12日(金) 20:00~21:30 2023年5月13日(土) 20:00~21:30
会場	12日: ホテル佐勘 1階 ロビー 13日: ホテル佐勘 2階 蓬莱
主催	推進協
来客者数	12日: 78人 (うち海外参加者 38人) 13日: 63人 (うち海外参加者 24人)

5月12日(金)、13日(土)にホテル佐勘を会場に、会合参加者やプレスの方々を仙台・東北の食や伝統芸能でおもてなしする「アキウナイト」を開催し、二日間で合計約140人の方にご参加いただきました。

12日(金)は、1階ロビーにおいて、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「秋保の田植踊り」や、東北6県のお祭

りが一堂に会す「東北絆まつりファッションショー」、すずめ踊り、秩父英里さんによるピアノ演奏が披露され、会場を大いに盛り上げました。13日(土)は2階蓬莱において、仙台・東北の美しい風景やパフォーマンスの動画を放映しながら、ゆったりとしたペーススタイルでお楽しみいただきました。会場では、仙台牛や宮城野ポーク、ずんだ団子のほか、東北各地の日本酒や秋保ワイン、ウイスキーなどもふるまひ、仙台・秋保の食をご堪能いただきました。

【提供品一覧】

	東北のお酒
	勝山 純米吟醸 献
	純米大吟醸 鳳陽
	雪の松島 海 KAI 蔵の華 純米吟醸原酒
	宝船浪の音 純米酒 閑
	純米吟醸 浦霞 No.12
	純米吟醸 浦霞 禅
	阿部勘 純米吟醸辛口 赤坂
	阿部勘 純米吟醸 亀の尾
	一ノ蔵 すず音 Wabi
	一ノ蔵 スパークリング純米酒
	純米 もりいずみ
	宮寒梅 純米大吟醸 贅撰
	真鶴 純米吟醸
	山和 純米吟醸
	黄金澤 純米吟醸 HITOMEBORE
	天上夢幻 夏吟 純米吟醸
	栗駒山 大吟醸
日本酒	栗駒山 ひとめぼれ 純米吟醸
	綿屋 純米吟醸酒 吟のいろは
	秋の鶴 極上純米酒
	純米大吟醸 澤乃泉
	特別純米酒 澤乃泉
	水鳥記 特別純米酒 夏酒
	蒼天伝 蔵の華 純米吟醸
	日高見 純米大吟醸 助六
	墨酒江 純米吟醸 蔵の華
	乾坤一 手造り純米吟醸
	ZAO 純米吟醸K 吟のいろは
	田酒 純米吟醸 百四拾
	関山 純米吟醸
	飛良泉 FOUR SEASONS 《春》 うすにごり
	純米大吟醸 「山形讃香」
	出羽桜 純米大吟醸 雪女神
	上喜元 大吟醸 古流しづく採り
	開当男山 純米吟醸
ワイン	下北ワイン RyoSelection2019(南サンマルワイナリー)
	下北ワイン KanonSparkling2020(//)

	ゼーレオハサマ メルロー 樽熟成 2019年産(樹エーデルワイン)
	ゼーレオハサマ スパークリングワイン シルドネ 2016年産(//)
	秋保メルロー 2020(樹山台秋保醸造所・秋保ワイナリー)
	秋保フィールドブレンドブラン 2020(//)
	ラセリー美 レカトルセバージュ(備みらいファームやまもと Vineyard & Winery)
	ラセリー美 レカトルセバージュブラン(//)
	MERLOT 2021 メルロ(南三陸ワイナリー(樹志津川醸造所))
	CHARDONNAY 2022 シャルドネ(//)
	小公子 Sweet Premium(小坂まちづくり(株)・小坂七滝ワイナリー)
	フリラン ロゼ ワイングランド(//)
ワイン	ドメイヌ・タケダ ベリーA古木 樽熟成 2020(南タケダワイナリー)
	シャトー・タケダ シャルドネ 2019(//)
	2018 高島アルケイディアセレクトハーヴェスト(樹高島ワイナリー)
	2020 高島ラクロチュア・エレクトリック・エン上和田シルドネ(//)
	名子山(樹酒井ワイナリー)
	シルドネ(//)
	2019マスターセレクションキュヴェレタツツヴァイタルレーバ(樹朝日町ワイ)
	2021マスターセレクションキュヴェシルドネ(//)
	Vin de Ollage メルロー2021樽熟成(一社)ふくしま達瀬ワイナリー)
	Vin de Ollage シャルドネ2021 キュベ菅野豊(//)

ビール	長井ブルワリークラフトマン
ウイスキー	宮城峡・伊達

料理

仙台牛ロースト
宮城野ポーク
宮城サーモン ブチトマト マリネ
蔵王チーズ 生ハム巻き
宮城野菜のピクルス
ずんだ団子

※お酒の提供については、各市長会、宮城県酒造組合等にご協賛、ご協力いただきました。



会合参加者への記念品

会合関係者および報道関係者に向けて、仙台の魅力発信やイメージの向上、歓迎の意や震災以降の支援に対する謝意の伝達を図るため、仙台を代表する優れた技術、デザイン等を用いた各種記念品を贈呈しました。

【各国閣僚級】

■品：丸皿（磁器）

- 制作：六華窯 岩井純氏
- サイズ：直径約25cm×高さ5cm
- 概要：皿のなかで星のように輝く模様が特徴的で、これまでに数々の受賞歴を有し、海外でも多くの個展を開催し高い評価を受けている。



■品：印章（はんこ）

- 制作：仙章堂 庄子喜隆氏
- サイズ：印章 直径約1.5cm
- 概要：仙台市出身の一級印章彫刻士であり、宮城県印章業組合長である庄子氏が伊達政宗公の騎馬像をモチーフとし、ひとつひとつ手彫りで仕上げたG7仙台オリジナルデザイン印章。



■品：宮城峡（ウイスキー）

- 製造：ニッカウヰスキー株式会社
- 内容量：700ml
- 概要：青葉区にあるニッカウヰスキー仙台工場・宮城峡蒸溜所で製造されたウイスキー原酒のみを使用したシングルモルトウイスキー。仙台の自然に育まれた華やかでフルーティーな香り、さわやかな余韻が特徴。



【各国次官級】

■品：ペアグラス

- 制作：ガラス工房尚 鍋田 尚男氏
- サイズ：直径8.5cm×高さ8cm
- 概要：美しい曲線とガラスの中に流れる色が特徴的で、今回の作品の澄んだ青色は秋保大滝をイメージして作られた。



【各国その他会合関係者】

■品：玉虫塗の小物入れ

- 制作：(有)東北工芸製作所
- サイズ：直径10cm×高さ4.5cm
- 概要：艶やかに照り返す発色と光沢が特徴の「玉虫塗」。仙台七夕飾りをモチーフにG7仙台ロゴをあしらったオリジナルデザインの作品。



【各国その他会合関係者・報道関係者】

■品：仙台弁こけし巾着袋

- 制作：エントワデザイン株式会社
- サイズ：縦26cm、横17.5cm
- 概要：宮城のご当地キャラクターである「仙台弁こけし」と、次世代放射光施設「NanoTerasu」がコラボしたオリジナルデザインの巾着袋。



プレス向けエクスカーショントラipsツアー

主催 推進協

2023年5月12日(金)から14日(日)の期間中、会合関係者や報道関係者向けに、エクスカーショントラipsツアーを設け、秋保地区や仙台市・宮城県内の観光地を中心とした観光資源や、文化・自然・歴史・学術・食などのPRおよび沿岸部被災地域の復興情報の発信を図りました。



【ツアー内容】

開催日	訪問先
5月12日(金)	第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023、仙台城跡 (伊達武将隊松尾芭蕉のガイド案内)、定禅寺通り(車窓観光)
5月12日(金) 5月13日(土)	秋保工芸の里(伝統工芸体験)、秋保大滝
5月13日(土)	観瀾亭(お茶体験)、松島遊覧船、瑞巖寺(特別拝観)
5月14日(日)	アクアイグニス、ICHIGO WORLD

会合参加者・登録プレスへのPR

会合参加者および報道関係者に向けて仙台・宮城のPRを行うため、G7バッグに各種パンフレットやグッズを同封し、配布しました。



■配布場所

- 会合参加者：各宿泊部屋に配置
- 報道関係者：ホテル佐勤メディアセンター内にて配布

配布物：

- 【パンフレット等】*全て英語表記
- エクスカーションバスツアー案内チラシ
 - 仙台ツーリストマップ
 - 秋保ガイドマップ
 - クーポン付き音声ガイドマップ
 - 仙台ガイドブック
 - 仙台体験&アクティビティガイドブック
 - ヴィーガン・ベジタリアン、ムスリム向け 仙台レストランガイド
 - 仙台3.11ピフォーアフターパンフレット
 - 宮城県ガイドブック
 - みやぎ復興のたびパンフレット

【G7仙台オリジナルグッズ】

- クリアファイル
- フリクションボールペン
- 仙台弁こけし巾着
- ドリップコーヒー

仙台駅での東北の魅力発信 (G7仙台科学技術大臣会合開催記念 東北観光物産フェア、東北の観光情報動画の放映)

開催日時 / 開催期間	2023年5月12日(金)～14日(日) 【時間】 12日、13日 10:00～20:00、 14日 10:00～19:00
会場	(物産フェア) JR仙台駅 2階 ステンドグラス前 (動画放映) JR仙台駅 2階 ヨリ未知ポータル
主催	推進協 協力：東北各県市長会 (一社)東北観光推進機構

東北地方では唯一のG7関係会合開催地である仙台に訪れる会合関係者に対し、歓迎の意を表すと共に、東北6県の魅力あふれる食品や民芸品等の地場産品を紹介・発信することを目的に、JR仙台駅2階ステンドグラス前にて物産フェアを開催しました。また、隣接するヨリ未知ポータルの大型モニターにおいて、仙台市の観光情報や東北地方の四季折々の美しい風景の動画を放映し、仙台および東北地方の魅力発信を行いました。

会合関係者のみならず、多くの市民や観光客たちで賑わいを見せたほか、同時期に開催されている会合の開催も広く周知することができました。



物産フェア



動画放映

第40回全国都市緑化仙台フェアとの 連携事業（秋保地区花壇整備、G7花壇）

【秋保地区花壇整備】

開催日時	2023年4月23日(日)
会場	太白区秋保町湯の橋及び観橋付近
参加者	湯元地区連合町内会 秋保小学区連合町内会 馬場連合町内会、湯元地区の児童 花苗の提供：第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会

【G7花壇】

開催期間	2023年4月26日(水)～6月18日(日)
会場	全国都市緑化仙台フェア会場
協力	第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会

「第40回全国都市緑化仙台フェア」は、G7仙台会合の開催期間中も開催されていたため、様々な連携事業を実施しました。開催地となる秋保地区を訪れる会合関係者に対し、歓迎の意を表すために、地元町内会や児童の皆さんにより、花壇が整備されました。花壇に植えられる花苗は、会合期間中も開催されている全国都市緑化フェアから提供いただきました。また、緑化フェアのメイン会場



秋保地区花壇



緑化フェア G7 花壇

では、G7参加国の紹介パネルと共に、G7花壇が設置されました。

秋保地区を訪れた多くの会合関係者を、色とりどりの花でおもてなしたほか、緑化フェアを訪れた市民や観光客等に、G7の開催や参加国の情報を発信することができました。

民間事業者等との連携事業

仙台の地域ブランド「都の杜・仙台」の参画事業者と障害福祉サービス事業者との連携の企画提案を行い、賛同した事業者により開催記念グッズが制作されました。

●珈琲まめ坊(仙台市青葉区)

G7会合をイメージしたブレンドコーヒー「Thanks the earth」を作り、店舗で販売を行うとともに、会合参加者に配布しました。



●NPO法人 ワンダーアート(仙台市若林区)

G7会合の参加国をイメージしたイラストがデザインされたポストカードやTシャツなどを制作しました。また、イラストを用いたパネルを制作し、会合会場であるホテル佐勤等に展示しました。



5 開催機運の醸成(市民向けイベント/展示)

G7仙台科学技術大臣会合 開催100日前記念シンポジウム

開催日時	2023年1月31日(火)10:30~15:00
会場	TKPガーデンシティ仙台 ホールB
主催	推進協
来場者数	延べ約170人

【プログラム】

■特別講演

テーマ:「サミット警備の成功に向けて」

〈講師〉

元警視總監・元内閣危機管理監 高橋 清孝 氏

■会合概要説明

テーマ:「G7仙台科学技術大臣会合に向けて」

〈講師〉

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

統括官 奈須野 太 氏

■パネルディスカッション

テーマ:「ナノテラスが仙台にもたらすインパクト」

〈パネリスト〉

一般財団法人光科学イノベーションセンター

理事長 高田 昌樹 氏

国立大学法人東北大学

理事・副学長 青木 孝文 氏

株式会社ティ・ディ・シー

代表取締役社長 赤羽 優子 氏

株式会社コングレ

専務取締役 紫富田 薫 氏

〈コーディネーター〉

特定非営利活動法人都市デザインワークス

代表理事 榊原 進 氏

【概要】

会合開催まで100日前を迎えることを記念して、1月31日(火)にTKPガーデンシティ仙台でシンポジウムが開催され、市民ら延べ約170人が参加しました。

はじめに元警視總監・元内閣危機管理監高橋氏を招いた特別講演が行われ、過去のサミットを標的とした事件や、サミット警備を行う上での注意事項等について紹介されました。続いて、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局統括官奈須野氏より、G7仙台科学技術大臣会合の概要について説明がございました。続いて行われたパネルディスカッションでは、特定非営利活動法人都市デザインワークス代表理事の榊原氏をコーディネーターに、一般財団法人光科学イノベーションセンター理事長の高田氏、国立大学法人東北大学理事・副学長の青木氏、株式会社ティ・ディ・シー代表取締役社長の赤羽氏、株式会社コングレ専務取締役の紫富田氏が、「ナノテラスが仙台にもたらすインパクト」をテーマに、ナノテラスの利活用の方針やG7が仙台で開かれることの意義、100日後の会議に向けた期待と意気込みなどについて、熱心な意見交換を行いました。また、イベント内容の再録記事を3月7日(火)河北新報朝刊に掲載しました。



G7参加国の魅力発信セミナー・パネル展示

主催	(公財) 仙台観光国際協会 共催：推進協
----	-------------------------

〈日本で暮らすG7各国出身の講師によるオンライン・トークイベント〉

仙台市民に対して、参加国に対する理解を深めるとともにG7仙台会合への関心を高めるため、参加国出身の外国人講師によるオンライン・トークイベントを開催し、各講師の自己紹介やエピソードを交えながら、出身国について仙台市民に知ってほしいテーマで紹介しました。



オンライン・トークイベントの様子

【開催日時】G7関連イベント「G7参加国出身ゲストのとおきの話」

	日時	ゲスト	参加人数
第1回 フランス	2023年3月10日(金) 18:30~20:00	仙台日仏協会アリアンスフランセーズ院長 グレゴリ・デュメン氏	34人
第2回 カナダ	2023年3月18日(土) 13:00~14:30	仙台市国際交流員 テシア・ロウ氏	21人
第3回 アメリカ	2023年3月25日(土) 16:00~17:30	仙台市国際交流員 タイラー・カールソン氏	21人
第4回 ドイツ	2023年3月26日(日) 13:00~14:30	東北大学災害科学国際研究所助教 ゲルスタ・ユリア氏 仙台観光国際協会職員 木村ノラ氏	43人
第5回 イギリス	2023年4月8日(土) 13:00~14:30	東北大学非常勤英語教師 マクファーレン・エミリー氏	27人
第6回 イタリア	2023年4月15日(土) 13:00~14:30	せんだい留学生交流委員 ファップレットティ・エレナ氏 元せんだい留学生交流委員 ビッティ・ダヴィデ氏	25人

計171人

〈パネル展示〉

オンライン・トークイベントの講師による、各国の紹介パネルを展示。パネルでは、仙台との類似点・相違点、科学技術などの点からそれぞれの目線で母国の魅力について紹介しました。



仙台国際センターでの展示の様子

期間	会場
2023年3月3日(金)~ 3月9日(木)	仙台国際センター
2023年3月10日(金)~ 3月23日(木)	七十七銀行本店営業部
2023年3月24日(金)~ 4月9日(日)	スリーエム仙台市科学館
2023年4月11日(火)~ 4月23日(日)	仙台国際センター
2023年4月24日(月)~ 5月14日(日)	秋保・里センター

G7仙台科学技術大臣会合 開催1カ月前記念イベント ～楽しいから始まる学び～ QuizKnock TALK LIVE+Quiz大会

開催日時	2023年4月16日(日)14:00～16:30
会場	国立大学法人東北大学 川内南キャンパス
主催	推進協 共催:東北大学グリーン未来創造機構
来場者数	中高生ら約200人

〈スペシャルゲスト〉

QuizKnock 伊沢 拓司氏、須貝 駿貴氏

【プログラム】

■第一部 TALK LIVE

〈テーマ〉「伊沢拓司・須貝駿貴が語る「科学」」

■第二部 Quiz大会

〈テーマ〉「クイズで学ぶ「G7」」

【概要】

G7仙台科学技術大臣会合の開催を記念し、中高生向けに科学の面白さや科学技術が社会を支える基盤となっていることを伝え、科学への興味を喚起し、かつ夢や人生について考えるきっかけを提供するため、QuizKnockの伊沢拓司氏、須貝駿貴氏をスペシャルゲストとして招いたイベントを実施しました。イベントには仙台市在住または仙台市の学校に通う中学生・高校生約200人が参加し、伊沢氏・須貝氏と一緒に身の回りの科学について考えたり、G7について学んだりしました。

第一部では、伊沢氏と須貝氏によるトークライブを実施。リアルタイムでの発信ツールを使って参加者からのアイデアを募集するなど会場が一体となって進みました。お二人からは、どんなものでも科学との関連性があるということや、いかなる仕事も科学と密接に関わっていること、身の回りの科学は多くの会社や大学、自治体によって支えられていること等を、様々な例を挙げながら中高生に分かりやすく伝えていただきました。また、G7サミットや関係閣僚会合についても説明いただき、今回G7科学技術大臣会合が仙台市で開催される意義について中高生に理解を深めてもらう機会となりました。

第二部では、会場の参加者全員とクイズ大会を実施。クイズは事前に参加者から募集しQuizKnockが選定改題し

たもの10問が出題され、参加者はハンドサインで回答しました。10問のクイズに最後まで勝ち残った7人は決勝戦に進出し、早押し問題に挑戦。決勝戦のクイズは伊沢氏自らが作成した全7問が出題され、クイズを通じて科学やG7についての理解を深めてもらいました。優勝者やクイズのアイデアが採用された参加者には、伊沢氏、須貝氏からサイン色紙やサイン本が贈られるなど会場は大いに盛り上がりました。

イベントの様子(第一部のみ)は、後日仙台市の公式動画チャンネル「せんだいTube」にもアーカイブ動画を公開し、イベントの参加者だけでなく全ての方を対象に発信することで、G7仙台科学技術大臣会合のPRにつなげました。



G7仙台科学技術大臣会合開催30日前 記念講演「科学技術を読み解く力」

開催日	2023年4月14日(金)14:00～15:30
会場	ホテルメトロポリタン仙台 21階 銀河
主催	(一社)東北経済連合会 共催:推進協 後援:(一社)日本経済団体連合会、 内閣府

【概要】

G7仙台会合開催30日前を記念して、(一社)東北経済連合会の主催でAI研究・読解力の第一人者である国立情報学研究所社会共有知研究センター長の新井紀子氏による

科学技術によりもたらされる未来についての講演会「科学技術を読み解く力」を開催しました。

当日は話題の「ChatGPT」の有効な利用についてのほか、具体的な事例をもとにAIとのかかわり方について分かりやすく解説いただきました。また、新井先生が考案された『リーディングテスト』に触れ、「科学技術を読み解くためには「説明文を読む力」をつけましよう」と話され講演を締めくくりました。



G7仙台科学技術大臣会合 機運醸成セミナー 「古きを学び、新しさを考える」

開催日時	2023年4月16日(日)14:00～16:00
会場	秋保・里センター
主催	推進協 共催:秋保温泉旅館組合 (一社)秋保地域活性化協議会
参加者数	約80人

【プログラム】

●第一部 講演会

テーマ:江戸時代の秋保温泉
～佐藤勘三郎家文書から～

講師:宮城学院女子大学 学芸学部人間文化学科
高橋 陽一 氏

●第二部 演武&座談会

テーマ:これからも続いていく秋保温泉のために

出演:伊達武将隊メンバー

秋保温泉の旅館の女将3名

会場となる秋保温泉の歴史を学び、これからの秋保温泉について考えることで地元の会合開催の機運醸成を図るセミナーを開催しました。第一部では、宮城学院女子大学

の高橋陽一氏により、江戸時代の文書から現代まで続く秋保温泉の歴史についての講演をいただきました。第二部では伊達武将隊による演武で会場を盛り上げ、その後は伊達武将隊と秋保温泉の旅館の女将3名を交えた座談会が行われました。座談会では、秋保温泉の魅力やこれからの持続・発展のための展望などについて意見交換が行われました。



G7給食

開催期間	2023年4月11日(火)～5月12日(金)
会場	仙台市内の小・中学校
主催	推進協

【概要】

G7仙台科学技術大臣会合をきっかけに、子供たちに世界への興味・関心を高めてもらうため、全ての市立小中学校において、G7参加国にちなんだ食材や料理を取り入れた「G7給食」を提供しました。

【G7給食のメニュー例】

米粉フォカッチャ、スパゲティシチリアーノ、オニオンスープ、オレンジ、牛乳
※G7参加国のイタリアにちなんだ料理として提供



子ども向けデジタルリーフレット

公開日	2023年9月8日(金)
対象	仙台市内の小学5年生～中学生
作成者	推進協

【概要】

子どもたちにG7についてわかりやすく知ってもらうため、市内の小学5年生から中学生まで向けに、デジタルリーフレット「G7仙台科学技術大臣会合のギモンにお答え！」を作成・配布しました。サミットの概要やG7仙台科学技術大臣会合で議論された内容、仙台市の取り組みなどについて発信するとともに、科学者として研究を行っている東北大学の先生へのインタビュー記事を掲載しました。



G7図書展示

主催	推進協、各市立図書館
----	------------

【期間・会場】

開催期間	会場
2023年4月28日(金)～5月24日(水)	市民図書館、若林図書館、太白図書館
2023年4月28日(金)～5月17日(水)	泉図書館、宮城野図書館
2023年5月2日(火)～5月24日(水)	広瀬図書館
2023年4月28日(金)～5月21日(日)	榴岡図書館

【概要】

仙台市内の各図書館等で、G7をテーマにした図書の



市民図書館

展示を行い、利用者に貸し出しを行うG7図書展示を開催しました。

各図書館では、科学技術に関する本を集めたコーナーを設けたり、G7参加国を紹介する本をまとめたりと、それぞれが工夫を凝らしたG7図書コーナーを展開しました。

巡回パネル展示

主催	推進協
----	-----

G7仙台科学技術大臣会合開催を記念して、会合の概要や仙台開催の意義、開催場所である秋保地域の魅力、会合参加国の概要、科学技術を活用した本市の取り組み等を紹介する巡回パネル展示を行いました。

期間	会場
2022年12月1日(木)～2023年5月14日(日)	秋保・里センター
2022年12月1日(木)～2023年5月14日(日)	スリーエム仙台市科学館
2022年12月1日(木)～12月22日(木)	秋保総合支所
2023年1月5日(木)～1月23日(月)	宮城野区役所
2023年1月5日(木)～1月23日(月)	AER 5階展示スペース
2023年1月23日(月)～5月14日(日)	市役所本庁舎 1階ロビー
2023年1月26日(木)～2月13日(月)	若林区役所
2023年2月13日(月)～3月3日(金)	泉区役所
2023年3月3日(金)～3月20日(月)	仙台国際センター
2023年3月21日(火)～4月7日(金)	藤崎本館
2023年4月10日(月)～4月20日(木)	宮城総合支所
2023年4月20日(木)～5月14日(日)	仙台市天文台



秋保・里センターでの展示の様子

6 歓迎・情報発信・PR

懸垂幕・吊看板の掲出

主催	仙台市
----	-----

G7仙台科学技術大臣会合を周知するための懸垂幕・吊看板を作成し、仙台市内の各施設に掲出しました。



AER



市役所本庁舎



秋保・里センター

掲出場所	掲出期間	掲出物
仙台市役所本庁舎	2022年11月22日(火)～2022年12月9日(金)、2023年4月13日(木)～5月14日(日)	吊看板
秋保総合支所	2023年2月1日(水)～5月14日(日)	懸垂幕
秋保・里センター	2023年3月1日(水)～5月14日(日)	吊看板
太白区役所	2023年4月3日(月)～5月14日(日)	懸垂幕
AER	2023年4月3日(月)～5月14日(日)	懸垂幕

カウントダウンボード 設置

設置日	2023年2月1日(水) (開催100日前)
主催	推進協

G7仙台科学技術大臣会合開催までの日数を示すカウントダウンボードを、100日前である令和5年2月1日より市役所本庁舎1階ロビー、秋保・里センター、太白区役所、秋保総合支所などに設置しました。

その他、推進協の会議や各種関連イベント時にも設置し、開催機運の醸成を行いました。

【常設場所】

- 仙台市役所本庁舎1階ロビー
- 秋保・里センター
- 太白区役所
- 秋保総合支所
- 推進協事務局(仙台市G7科学技術大臣会合推進室内)



シティドレッシング

作成者	推進協
-----	-----

仙台市内中心部や玄関口であるJR仙台駅および仙台空港、会合会場となった秋保地域等にてG7仙台科学技術大臣会合へ向けた歓迎装飾を掲出し、会合のために仙台を訪れる関係者に歓迎の意を表すとともに、歓迎機運の醸成を行いました。

なお、市内中心部のフラッグについては、同時期に開催中の「第40回全国都市緑化仙台フェア」と連携して掲出しました。



仙台駅アーチ



仙台駅フロアシート

【仙台市中心部および仙台国際空港】

掲出場所	掲出期間	内容
仙台駅前ガス灯、青葉通り、定禅寺通り	2023年3月30日(木)～5月14日(日)	歓迎フラッグ掲出
ドコモビジョン(仙台市中心部おおまち商店街大型ビジョン)	2023年4月13日(木)～5月14日(日)	デジタルサイネージ掲出
NTT東日本ビジョン(南町通り/青葉通り)	2023年5月8日(月)～5月14日(日)	デジタルサイネージ掲出
東北電力ビジョン	2023年4月13日(木)～5月14日(日)	デジタルサイネージ掲出
JR仙台駅(2階から3階への南階段)	2023年4月15日(土)～5月14日(日)	歓迎アーチ設置
JR仙台駅東口	2023年4月15日(土)～5月14日(日)	歓迎フロアシート設置
仙台国際空港 ①国内線到着ロビー	2023年5月8日(月)～5月14日(日) ※①のみ4月13日(木)～5月14日(日)	①デジタルサイネージ掲出
②国内線到着ロビー		②歓迎看板掲出
③国際線到着ロビー		③歓迎看板掲出
④国内線バゲージクレーム		④デジタルサイネージ掲出
仙台空港駅改札脇	2023年5月8日(月)～5月14日(日)	歓迎看板掲出
東北大学青葉山キャンパス	2023年4月12日(水)～5月14日(日)	歓迎フラッグ掲出



横断幕

【秋保地区】

掲出場所	掲出期間	内容
秋保温泉街街路灯	2023年4月13日(木)～5月14日(日)	街路灯への歓迎フラッグ掲出
民間施設 ①秋保ヴィレッジ ②秋保ワイナリー ③秋保森林スポーツ公園 ④秋保木の家 ⑤仙台万華鏡美術館	2023年4月13日(木)～5月14日(日)	のぼり旗掲出 ※①のみのぼり旗に加え歓迎サイン掲出
市民センター ①湯元市民センター ②馬場市民センター ③秋保市民センター	2023年4月13日(木)～5月14日(日)	のぼり旗掲出
学校 ①湯元小学校 ②秋保小学校 ③馬場小学校 ④秋保中学校	2023年4月13日(木)～5月14日(日)	横断幕掲出
その他 ①秋保工芸の里 ②秋保大滝(秋保大滝不動尊)	2023年4月28日(金)～5月14日(日)	のぼり旗掲出



フラッグ



のぼり旗

ポスター掲出、リーフレット配布各種、PRグッズ

作成者	推進協
-----	-----

【概要】

G7仙台開催を広くPRするため、広報・啓発グッズを作成し、周知を図りました。ポスターは仙台市の施設のほか推進協の構成団体、会合が開催される秋保地区の旅館や商店等の協力を得て貼り出し、リーフレット及びPRグッズはイベント会場や展示会場にて配布しました。

【作成数】

グッズ	配布数
ポスター	2,000枚
缶バッジ	8,000個
クリアファイル	5,000枚
フリクションボールペン	4,000個
紙袋(会合関係者・登録プレス向け)	300個
リーフレット	1,000部超

■PRグッズの主な配布先

会合主催者、推進協構成団体、G7会場・宿泊施設、市民利用施設、仙台市内教育機関など



ウェブページ及びSNSによる情報発信

開設日	仙台市 G7ウェブページ: 2022年9月9日 推進協ページ: (日本語)2023年1月27日 (英語)2023年2月22日 Twitter:2023年1月27日 Instagram:2023年1月27日
作成者	仙台市 推進協

【概要】

推進協のホームページを開設し、会合開催のPRを行うとともに、市民向け関連イベント情報や仙台・秋保・東北の魅力、復興情報などを発信しました。

また、英語版ホームページを開設し、世界の国々に向けて、G7仙台の関連情報や、仙台・東北の魅力、復興情報などを発信しました。

なお、上記に先立ち、仙台市ホームページにおいて、誘致活動や会合開催についての情報発信及び推進協力委員会の会議資料等の掲載を行いました。

SNSにおいては、推進協のTwitterとInstagramのアカウントを開設し、日本語及び英語で開催地区である仙台・秋保の魅力発信等を行ったほか、会合の関連イベントや会合期間中の様子について発信しました。

■URL 推進協:(日本語) <https://www.g7sendai.jp/>
(英語) <https://en.g7sendai.jp/>
※8月末にて終了

仙台市HP:<https://www.city.sendai.jp/mice/g7/2023g7sendai.html>

■SNS(Twitter) @g7_sendai_2023
(Instagram) @g7_sendai_2023
※8月末にて終了

■主な掲載情報

- G7サミット及びG7科学技術大臣会合について
- G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会について
- G7仙台科学技術大臣会合開催概要について
- 仙台・東北の魅力について(視覚情報)
- 東日本大震災からの復興のあゆみ

- 仙台市へのアクセス
- 子供向け「G7サミット」
- 関連イベント情報
- お知らせ(イベント実績報告等)

日本語版トップページ



英語版トップページ



Twitter



Instagram



仙台・未来創造フォーラム (首都圏シティブロモーション)ブース出展

開催日	2023年1月27日(金)
会場	KITTE (東京・丸の内) 4階 ホール
主催	仙台市
来場者数	255 人

1月27日(金)にKITTE丸の内で開催された仙台・未来創造フォーラム(首都圏シティブロモーション)で、G7仙台科学技術大臣会合のPRブースを出展しました。仙台・未来創造フォーラムは、仙台市が首都圏の企業・団体等の代表者、国会議員、外国機関や官公庁関係者等を対象に実施しているイベントです。

2023年は、G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会の副会長である東北大学大野総長、仙台商工会議所藤崎三郎助会頭をはじめ、255人の仙台にゆかりのある方々にご参加いただきました。

会場では、仙台でのG7会合開催の意義などについて、パネルやリーフレットで紹介しました。



7 記事掲載

JapanTimes 特集記事

掲載日	2023年6月19日(月)
作成者	株式会社 ジャパンタイムズエージェンシー

会合で議論された内容や技術展示および各種エクスカーションツアーの様子を取材した特集記事が、観光情報等を紹介する広告記事とともに、Japan Times紙で掲載されました(2023年6月19日発行)。また、同記事については、WEB上でも公開され、同社のFacebookおよびTwitterで発信が行われました。

各国の大使館や外資系企業等の購読者に対して、会合の成功や観光情報を発信することで、グローバルMICE推進都市・仙台を周知することができました。



仙台市政だより

掲載	2023年1月号 特集 5月号 特集 6月号 市政トピックス
配布先等	市内全戸配布のほか、市・区役所、市民センター、地下鉄駅等で配布
作成者	仙台市

【概要】

仙台市政だより各号にて、G7の概要や関連イベント等の案内、期間中の交通渋滞緩和に向けた協力をお願いなどを掲載し、周知・広報を行いました。

1月号:会合の概要周知、関連事業の周知

5月号:会合期間中の事業広報、関連事業の周知

6月号:会合開催報告



8 おもてなし環境整備

おもてなし環境整備

主催	仙台市、推進協
----	---------

○環境整備

磊々峡遊歩道、秋保工芸の里、秋保大滝等の観光施設について、各種修繕や改修を行い受入環境を整えました。

また、会場周辺及び通行ルート上の道路の支障木伐採、道路舗装・区画線明示工事を行ったり、施工中の工事区間について、会合期間中の配慮を依頼し、休工としていただき、会合期間中及び前後の安全・安心な環境の整備を行いました。

加えて、「みんなでまちをきれいにしようキャンペーン」として、仙台のまちをきれいに清掃し、訪れる方を美しい「社の都」でおもてなしするため、ポイ捨て防止の啓発活動と清掃活動を実施しました。

(参考)

- 磊々峡遊歩道:階段・路面修繕・手すり・案内板・板塀修繕、東屋・ベンチ・テーブル修繕、刈払い・支障木伐採、投棄ごみの清掃
- 秋保工芸の里:公衆トイレ修繕
- 秋保大滝:公衆トイレ床面修繕、駐車場看板架け替え、周辺除草、伐採
- 秋保温泉街路灯の清掃・交換整備
- 周辺道路:支障木伐採、道路舗装・区画線明示工事
- 周辺で施工中の工事日程:会合期間中は休工へ調整
- 清掃活動:仙台市中心部(仙台駅前、一番町、定禅寺通、青葉通 他)

インバウンドおもてなし研修

開催日時	2023年4月12日(水)13:00~16:00
会場	秋保・里センター
主催	推進協
参加者数	22人

秋保地区の温泉・宿泊施設の新入従業員を対象に、(株)スマイルアップの大原みよこ氏を講師に、これから増加が見込まれる海外からのインバウンドへの対応を学ぶ「インバウンドおもてなし研修」を実施しました。研修では異文化への理解やおもてなしとは何か、また英語での接客

について、グループワークやロールプレイングを通して学びました。参加者からは「知らなかった他国の文化を知る良い機会になった。他国の文化を尊重しつつ、日本の文化の良さが伝わる接客を心がけたい」「外国語が話せなくても、工夫をしながら気持ちの伝わるおもてなしの方法を学ぶことができた」などの感想が寄せられました。



9 警備体制等整備

警備・交通・ライフライン関係機関連絡会

開催日時	第1回 2022年12月22日(木)10:30~11:30 第2回 書面開催(2023年4月19日(水)送付)
会場	第1回 TKP ガーデンシティ仙台勾当台 2階 ホール1 第2回 書面開催
主催	推進協
来客者数	第1回 約94人 第2回 書面開催

【概要】

G7仙台会合の成功に向けて、警備・交通・ライフラインに関する意見交換や情報共有を図ることを目的に「警備・交通・ライフライン関係機関連絡会」を開催しました。

【第1回】

(1)挨拶

2023 G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会事務局

(2)G7仙台科学技術大臣会合の概要

(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

(3)2023 G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会とその事業内容について(2023 G7仙台科学技術大臣会合推進協力委員会事務局)

(4)サミットをめぐる情勢および警備諸対策について(宮城県警察本部)

(5)昨今の海洋情勢について(第二管区海上保安本部)



【第2回】

(1)G7仙台科学技術会合の日程について

(2)G7仙台科学技術大臣会合に係る実施事業について

(3)秋保地区周辺の警備体制について

(4)自主警備等の取り組み状況の調査について

【構成団体】

1	秋保温泉旅館組合
2	秋保地区町内会長会
3	湯元地区連合町内会
4	(株)NTTドコモ東北支社
5	KDDI(株)東北総支社
6	ソフトバンク(株)
7	楽天モバイル(株)
8	(公財)仙台観光国際協会
9	仙台空港鉄道(株)
10	仙台国際空港(株)
11	(一社)仙台経済同友会
12	仙台商工会議所
13	みやぎ仙台商工会
14	仙台ホテル総支配人協議会
15	宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合
16	(一社)東北観光推進機構
17	(一社)東北経済連合会
18	東北電力(株)
19	東北電力ネットワーク(株)宮城支社
20	日本郵便(株)東北支社
21	東日本高速道路(株)東北支社
22	東日本旅客鉄道(株)東北本部
23	東日本電信電話(株)
24	(一社)宮城県LPガス協会
25	(一社)宮城県タクシー協会
26	(一社)宮城県タクシー協会仙台地区総支部
27	(公財)宮城県トラック協会
28	(公財)宮城県バス協会
29	宮城県レンタカー協会
30	(一社)日本フードデリバリーサービス協会
31	仙台市
32	仙台入国管理局
33	第二管区海上保安本部
34	東京航空局仙台空港事務所
35	東北運輸局
36	東北経済産業局
37	東北総合通信局

38	(国研)量子科学技術研究開発機構
39	東北大学
40	東北大学病院
41	(一財)光科学イノベーションセンター
42	東北地方整備局
43	宮城県
44	宮城県警察
45	横浜税関仙台空港税関支署
46	横浜税関仙台塩釜税関支署

会議主催者側出席者(オブザーバー)

1	内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
---	-----------------------

■各種訓練の実施

実施日	項目	内容
2023年4月13日	テロ対策訓練	主催:第二管区海上保安本部、宮城県警察、(宮城海上保安部) 場所:荒浜小学校前面海域
2023年4月24日	不審者対応訓練	主催:第二管区海上保安本部(太平洋フェリー、宮城県警本部、宮城海上保安部) 場所:仙台塩釜港仙台区フェリーふ頭係留中のフェリー「きたかみ」船内
2023年4月27日	火災対応訓練	参加機関:ホテル佐勘自衛消防隊、仙台市太白消防署 場所:ホテル佐勘
2023年4月28日	化学テロを想定した宮城県警・仙台市合同テロ対策実動訓練	参加機関:宮城県警察、仙台市危機管理庁、仙台市消防局、仙台市交通局 場所:仙台市交通局荒井車両基地
2023年5月1日	テロ対応訓練	参加:第二管区海上保安本部(宮城海上保安部、石巻海上保安署、仙台航空基地) 場所:仙台塩釜港塩釜区西ふ頭前面海域